とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話2551番
毎旬5の日発行　1部70円1カ月200円　1カ年前納2,000円

予算議会を総括する

年間でもっとも重要な三月の定例第一回の町議会は陸別は十一日間としましたが、うち三日間を休会したので正味七日間で二十日に閉会本別は十二日に開会して会期を四日間としてうち一日休会で正味三日間で十五日に閉会、足寄は十二日に開会しし会期を十九日間としうち九日間休会して正味十日間の審議ぶりでしたがそれぞれ一般会計予算のなかから新年度の重点施策をひろつてみるとともに、町議会の在り方そのものを総括してみました。

本別　柔剣道場に児童舘

五月十九日で任期満了による町長改選をひかえているので政策予算は新町長の手でとして骨格予算とはいうものの、町の総合十カ年計画にそつて前年度より八・三%増の十五億四千三百五十一万円の大型予算で

▲本別公園整備　一千五百万円
▲青少年キャンプ村整備　八百万円
▲仙美里児童舘新築　一千四百六十六万円
▲柔剣道道場新築　三千八百五十万円
▲街路灯新設四百五十万円

のほか公営住宅二十戸、道営福祉住宅十戸、老人居室改増築融資十戸、児童手当を十五才までに拡大、区長手当を平均三万円に、町有林監視員報償費を三万円に増額などをもつています。

なにしろ年度当初予算議会ともなれば一般質問による政策論議もあり、特別会計をふくめて二十件以上の議案に請願、陳情もあるので、陸別は七日間、足寄は十日間の〃実働日数〃を費やしているのに、本別の場合はタツタ三日間ですませていることですが、これはいつものことで、これは長谷川議長のテキパキとした議事はこびと水元町長の説得力のある説明と答弁によるもので、常に町政万般の現状をくどいくらいに聞かされているので議員の方からの質問、質疑がすくないということで、助役や課長の出番もすくない〃水元孝夫ワンマン・ショー〃といつた格好にあります。

そこへもつてきて伝統的に議会勢力が与野党にハッキリわかれていて安定勢力に乗つていることで『なにも好きで町長をやつているわけではない、君らがやれというからだ』というとおりに、五月への三選も水元氏が言い出すわけではなく役場職組が打ち出し地区労がまとまり後援会がお膳立をするにとになります。

陸別　診療所と老人施設

八億九千三百五十五万五千円の一般会計のなかで農道、草地、橋梁のほか老人いこいの家の公約を果し、池尻議員が強く主張していた勤労者融資制度を実現、診療所(一、〇九〇平方㍍)の新築は特別会計で一億七千四百三十万円を計上しています。

▲衛生用倉庫　五四万円
▲交通安全車　八〇万円
▲交通安全教室セットカー　一一〇万円
▲老人憩の家(三三〇平方㍍)新築二、七五九万円
▲若葉保育所改修　一八七万円
▲診療所会計繰出金　一億〇二九七万円
▲上水道会計負担金　九三九万円
▲農業用水道会計繰出金　一六〇万円
▲勤労者融資　二〇〇万円
▲畜産事業団牛百頭購入　八〇〇万円
▲畜産センター運営費　九六〇万円
▲上作集五二林班草地造成　一、四六五万円
▲上陸別地区農道整備　一、三三一万円
▲農業機械導入補助　一、八一九万円
▲カネラン峠施設整備　二五五万円
▲陸別薫別線道路改良工事　一、一〇九万円
▲共和地区農道整備事業　一、八七八万円
▲殖産地区農道整備事業　一、三三九万円
▲中陸別蹄橋架換工事　三、五三三万円
▲薫別桂庵橋架換上部工　一、〇六四万円
▲公営住宅二種六戸新築　二、一一三万円
▲教員住宅三棟六戸新築　二、三〇五万円

その重点施策

杉田町長が行政はズブのしろうとで年令も若いし、なんといわれようが低姿勢で応対しているので、水元町長のように距離感がなく無遠慮な発言もあり、ほとんどの議員が万辺なく発言するので、ときには竹内議長が国会なみに時間制限をすることがあります。

ほかでは要領よくハショツてしまう議案でも丁寧に審議するのが常で、議会前に下調べをするなり、あらかじめ事務当局できいておけばよさそうなことが本会議の質疑として出るので時間がかかることになります

▲大規模草地会計繰出金　八三三万円
▲谷の沢線林道開設　八九七万円
▲上斗伏線山田の沢林道　二五〇万円
▲林業構造改善事業補助金　二、〇一五万円
▲樹芸樹木事業費　三、九八〇万円
▲白ろう病対策費　一六〇万円
▲水銀街路灯設置　二五〇万円
▲防犯灯設置　三〇万円
▲中小企業特別融資貸付金　一、〇〇〇万円
▲商工振興資金貸付金　一、〇〇〇万円
▲里見ガ丘公園整備養　二三一万円
▲民芸作業所習技者抹助費　一二八万円
▲南四区側溝整備　一〇〇万円
▲平和稲牛線改良工事　二、五五〇万円
▲旭町本通り歩道新設　三六〇万円
▲オンネトー線橋梁補修　二八八万円
▲上足寄風達線橋梁架換　四五〇万円
▲駅前舗装側溝工事　三五五万円
▲中島公園造成事業　九一〇万円

足寄　樹芸樹木園地事業

総額十七億四千七百八十六万三千円の一般会計の財源は、交付税の八億三千万円、国と道支出金が二億八千万円、町税の二億六千万円、町債の一億五千万円が大半を占めており、その主な支出は

▲職員住改修宅、庁舎整備　六八七万円
▲東小学学敷地購入費　五一五万円
▲字名地番改正調査費　八七万円
▲独居老人住宅電話施設　二五万円
▲老人居室整備資金貸付金　五〇〇万円
▲特別養護老人ホーム設計　五四五万円
▲患者輸送車　一九〇万円
▲国保病院繰出金、出資金　三、七八一万円
▲上水道会計負担金　一六〇万円
▲簡易水道会計繰金　三五九万円
▲働くものの憩の家備品　五〇万円
▲林業労務者共済奨励金　一三五万円
▲勤労者生活資金貸付金　二〇〇万円
▲酪農経営規模拡大補助金　一、六七九万円
▲乳用雌牛改良貸付金　七五六万円
▲高能力生産組織対策費　五、四三二万円

三町消防議会　新年度予算を決める

池北三町消防事務組合の第一回定例議会は二十六日に足寄町でひらき、昨年下半期の火災発生は足寄八本別六、陸別一、救急車出動は足寄一六六、本別九五陸別六一などの報告があつて、補正予算、議員などの報酬改正(日額二千九百円に)、旅費条例を改正、火災予防条例の全文改正を決めて、新年度予算を上程したところ西野議員(陸別)から執行方針の要請があり小林管理者(足寄町長)から『三町それぞれの計画をあつめたもの…』と答弁して総額一億三千八百七十四万九千円を決定しました。

常勤職員は本部二名、足寄十八名、本別二十一名、陸別十二名の陣容で、新年度の施設は足寄が防火水槽二基、本別が第二分団会館とタンク車、陸別が移動無線電話装置の新設購入を決めましたが、こんご補正算算で、足寄は消防車と救急車の購入を見込んでいます

大野氏を推薦

足寄町議会では二十五日に議員協議会をひらき、昨年いらい地元道議候補の選考を一任されていた大滝議長から経過報告があつて、大野耕太郎氏を推薦することに決定し、本別、陸別、浦幌の各自民党支部へ協力を申し入れしたのでこれをもつて選考世話人としての作業がおわつたことの諒承をうけ、このあと大野氏から『若輩の私が推薦をうけ感謝にたえない、このうえは党の公認を得るために努力する』と決意を表明して満場の拍手をうけ、ひとつの段階をすませました。

国のうちそと

☆いつせいにハチまき姿の町村長を先頭にして危機突破大会をひらき、牛乳出荷ストをもつて政府に訴えたギリギリの線は八十八円四十三銭。

☆これ以下では酪農家の経営がなり立たないというのに、加工原料乳の保証価格は一キロ七十円二銭どまりに。

☆米作農家のためには四千五百億円もの大金を投じながら、酪農家には二百三十億円しか出さないということで、これだけの運動をしても政府を理解させるだけの政治力が不足かといえば、酪農基地の道東には本名前国務大臣、中川大蔵政務次官、安田前副知事という三代議士が存在。

七十円二銭也

☆とくに青嵐会で暴れまわつている中川大蔵、渡辺農林の両政務次官こそは乳価問題の直接の担当者で、酪農家にとつては絶好のチャンスだつたのに、なんと七十円二銭也でガマンせよということ。

☆田中総理にくつてかかるほどのサムライなのだからこうしたときこそは次官の職をとしてもガンバるのではないかと期待した支持層はガツカリ。

☆とはいつても資本主義体制のなかで、そうそう農民や労働者の要求するとおりの政治が実現する筈のものではなく、むしろこうしてタタかれてもイジメられても農民や中小業者は自民党政府を支持して、自ら自分の首をしめていること。

おでん スナック シャンブル
足寄町南一区　T　二四三九

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
(に)自動車　新津はなや
足寄町西三区　T　二六二六

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

春物衣料
が各産地から続々と入荷いたしておりますので御光来、御用命下さい。
物価高に負けないよう足で集めて参りましたので価格も安く、また形も流行品ですので、御満足を得られることと存じますのでお早目に春をお買い下さい。お待ち申し上げます。
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T二〇二三

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る!
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を!
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二三二一番

技術に生きる!
ーあらゆる電気器具ー
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
ビクター
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T　2642